

ABE KOGYO

施工説明書

施工業者様用

EXTRA

ドアユニット

親子ドア

このたびは、ABE KOGYO製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

!

施工にあたってのご注意

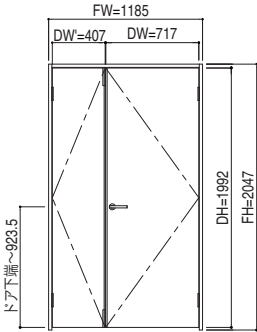
- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取付けてください。誤った取付け方をしますと、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。
- 商品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。万ー商品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社までご連絡ください。
- 照明灯などの熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1 m以上離して作業してください。

扉 梱 包		別 梱 包	
扉本体 (親扉1 子扉1)		上 枠 (1)	 上受けつぼ付
		縦 枠 (2)	
		縦用戸当り (2)	 ・縦用戸当り
		上用戸当り (1)	 ・上用戸当り
レバーハンドル (1)	 レバーハンドルの箱に同梱	幅 定 規 (1)	
受けつぼ(1) 取付用ビス(2)	 レバーハンドルの箱に同梱	枠組立てビス (4)	 シルバー (10×50mm)
扉側丁番 (上・下) (2) 丁番ケースカバー (2)	 レバーハンドルの箱に同梱	調整ビス (4)	 アンバー (4.5×50mm)
		躯体取付ビス (8)	 シルバー (4.2×62mm)

ケーシング梱包(ケーシングタイプのみ)				
ケーシング STタイプ  ※固定枠には 付きません。	STタイプ	縦	4	
		横	2	

納まり図≪親子≫

姿図

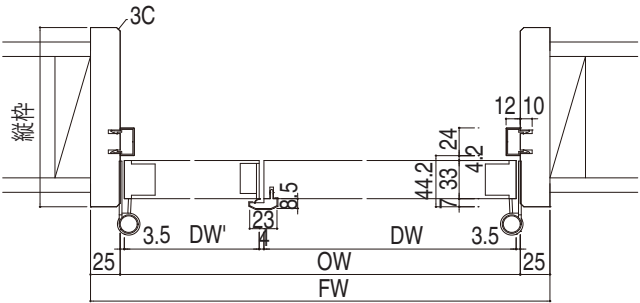


≪品番構成≫

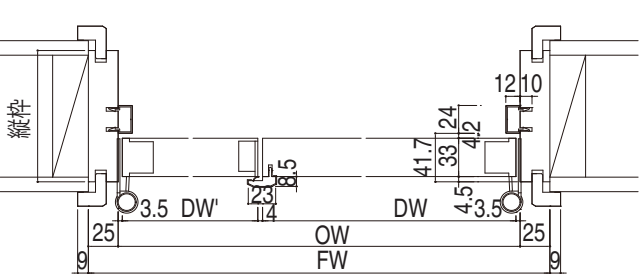
FX1 - ○ - □ (R・L)

固 定 枠	○	枠見込	H	□	R	右吊元
	T	90mm	2047mm	色 品 番	L	左吊元
	W	114mm				
	S	155mm				
ケーシング枠	L	175mm				
	PF(A~C)	113mm				
	QF(E~G)	150mm				

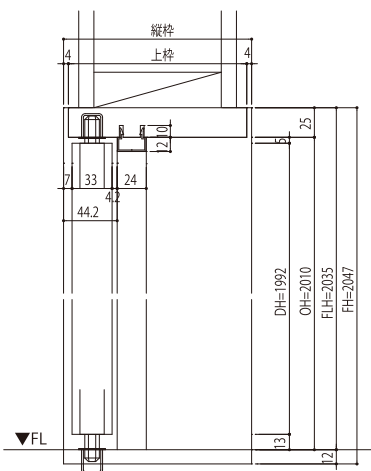
横断面図(固定枠)



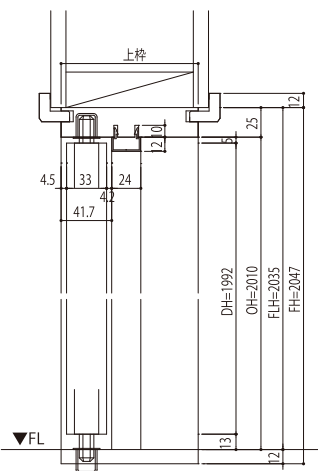
横断面図(ケーシング枠)



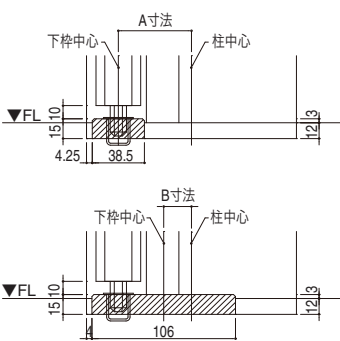
縦断面図(固定枠)



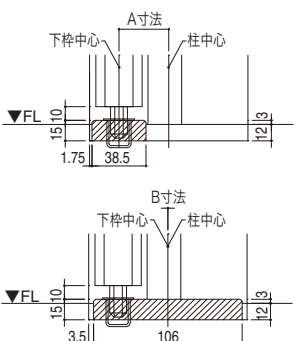
縦断面図(ケーシング枠)



下枠納まり(固定枠)



下枠納まり(ケーシング枠)

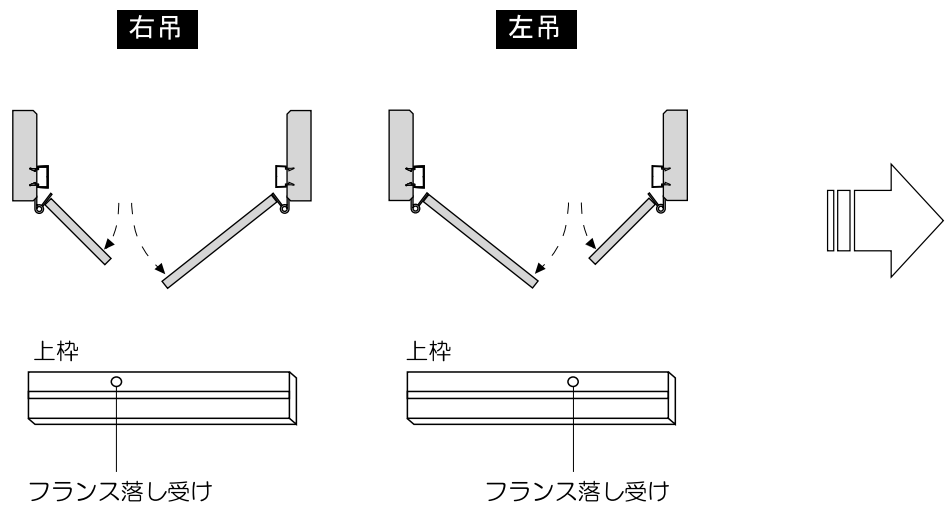


※フランス落し受けの取付けには、現場加工が必要です。

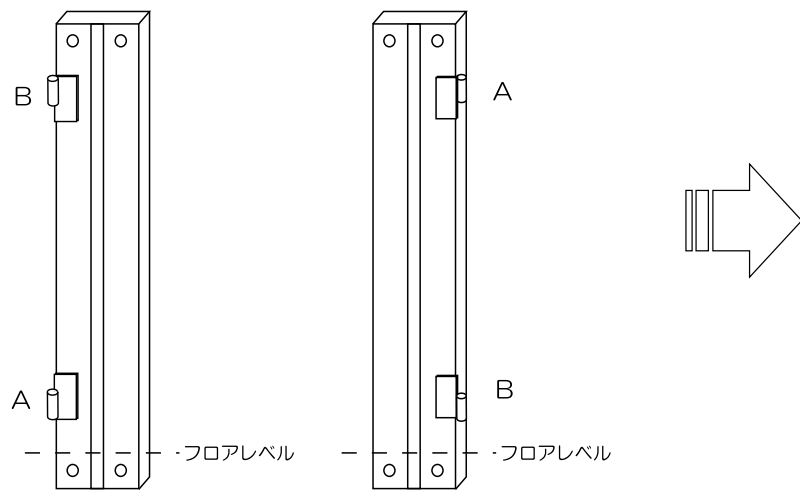
# 取付け順

## 1. 枠の組立て

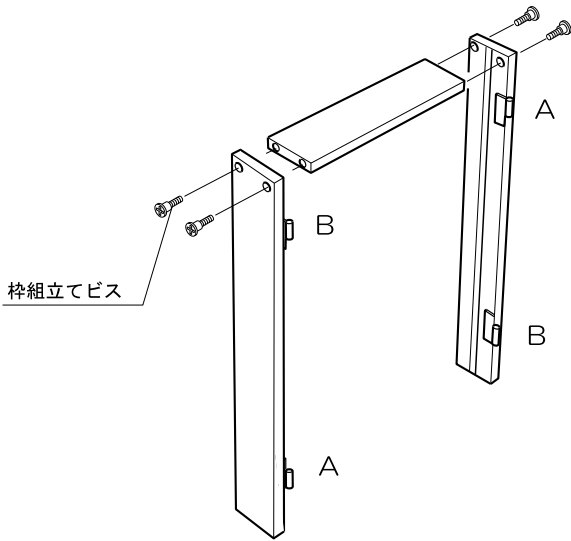
①ご希望の開き方を下の図を参考に選択して下さい。



②必要に応じて下端カットしてください。

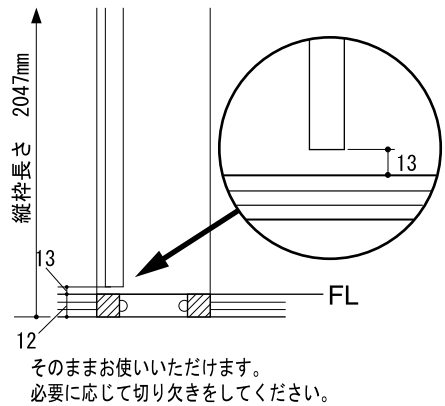


③同梱の組み立てビスで横枠と縦枠を固定して下さい。

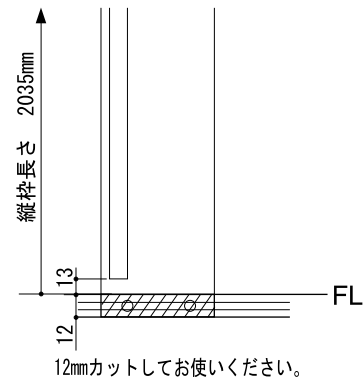


### <参考>縦枠カット寸法

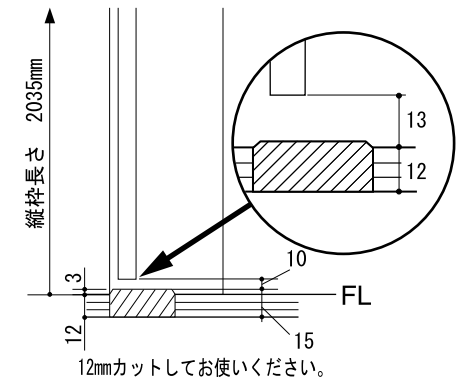
①12mm床埋め込み



②フロア直置き



③フロア直置き（下枠施工時）

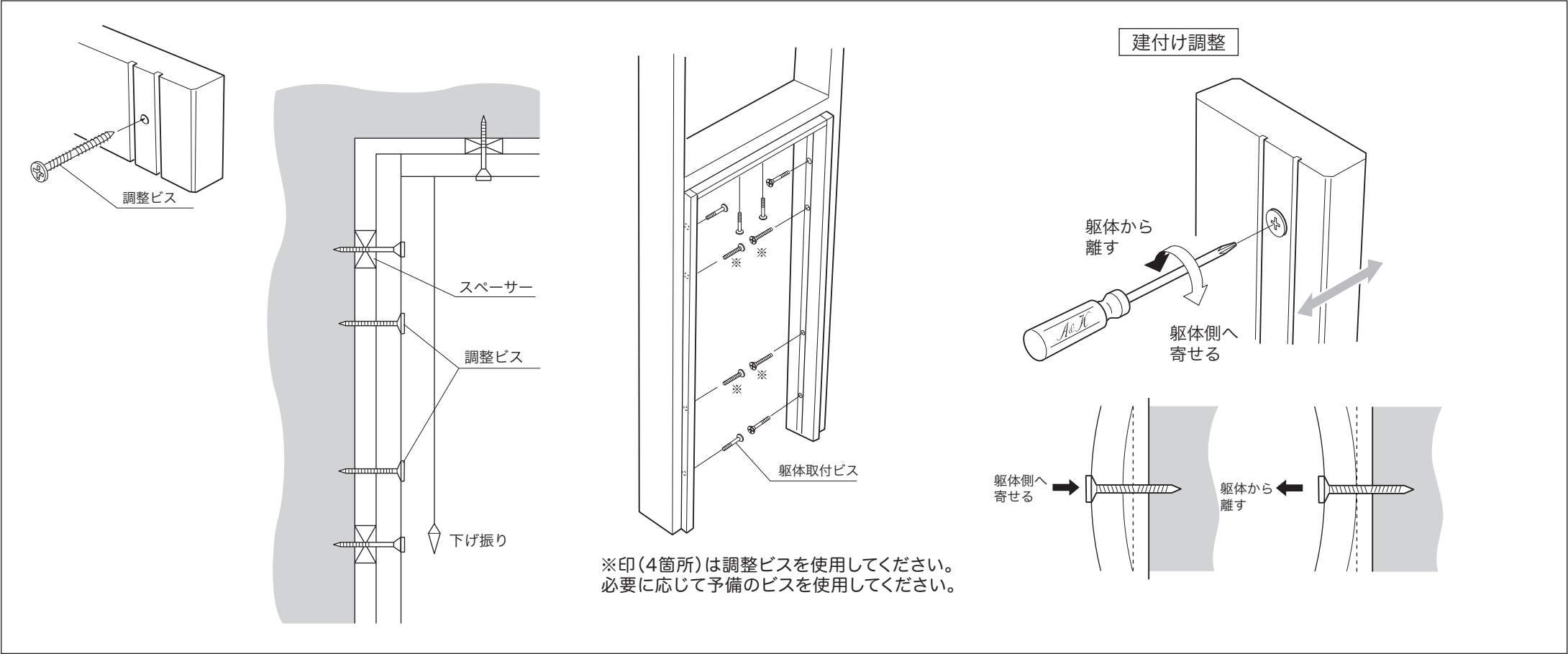
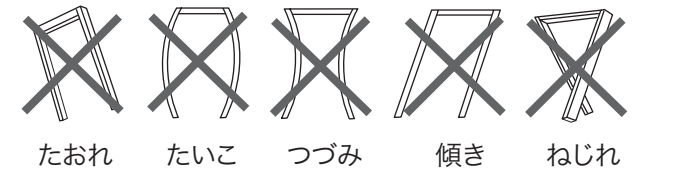


2. 枠の取付け

- ①開口部の水平・垂直を確認してください。
- ②躯体取付けビスと調整ビスを使って、枠を取付けてください。
- ③幅定規で内法を確認し、調整ビスで建付け調整をしてから本固定してください。
- ④調整ビスの使い方
  - 調整ビスは、枠の固定と調整を兼用するビスです。
  - 調整ビスで、枠の下穴より躯体に取付けてください。（プラスドライバー使用）
  - 下げ振りなどで建付けを確認しながら、プラスドライバーでビスを回して調整してください。
- ⑤フランス落としの下用受けつぼを、幅定規で位置を確認しビスで固定してください。

**注意** 調整ビスによる調整は、必ずボードを貼る前に行ってください。

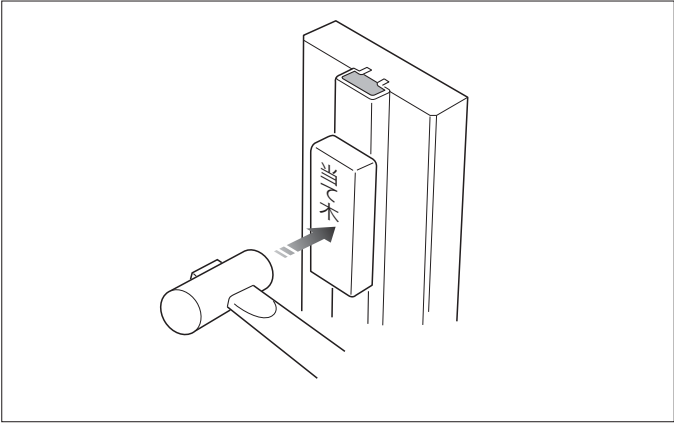
※施工後の枠が下図にならないように水平・垂直および開口寸法の確認をしてください。



※印(4箇所)は調整ビスを使用してください。  
必要に応じて予備のビスを使用してください。

3. 戸当りの取付け

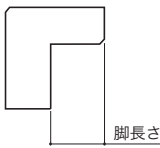
- ①枠の2本の溝に接着剤を入れ、当て木などを添えて打込みます。
- ②初めに、上戸当りを取付けてください。
- ③縦用の長さは、現場合せのうえカットしたのち、取付けてください。



4. ケーシングの取付け(ケーシング枠の場合のみ)

壁・床の施工が終了した後、現場寸法に合わせてカットしてケーシングを取付けてください。  
●ケーシングの納め方は縦勝式です。  
※形状に縦用と横用がありますので注意してください。  
縦ケーシングの高さ寸法を決め、カットして取付けてください。横ケーシングの長さ寸法を決め、カットして取付けてください。横ケーシングも適正寸法を現物に合わせて確認し、カットしてください。

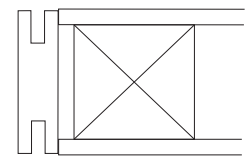
ケーシングには、脚の長さが3種類あります。  
壁厚など現場仕様 に合わせて、使い分けできます。



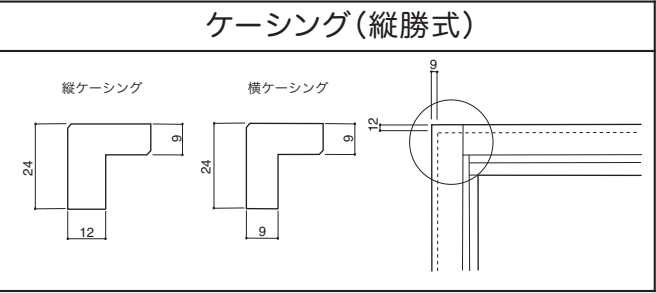
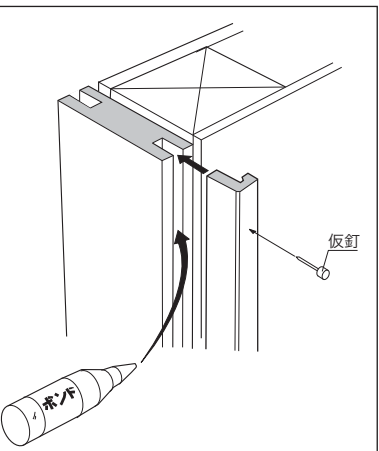
《ケーシング品番》  
CX - ○2 - 72 - □

○	脚長さ
A	10mm
B	16mm
C	23mm

枠のケーシング用溝に接着剤(木工用ボンド・現場手配)を塗布し、固定してください。



\*枠はボード面より2mm程度下げて取付けてください。



5. 扉の吊込み

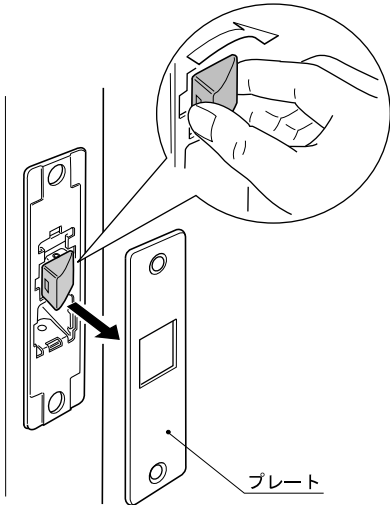
- 丁番とレバーハンドルの取付けは、レバーハンドルの部品箱の付属の説明書をご覧ください。
- 扉側丁番、丁番ケースカバー、丁番取付けビスは、レバーハンドルの部品箱に同梱してあります。

注意

- ① 一度扉を吊り込み、扉がスムーズに開閉できるかを確認してください。
- ② 扉の保護のため、扉を一度取りはずし建築工事完了後に再度吊込むことをお勧めします。

6. 建付け調整

- ラッチの向き 左吊の場合にはプレートをはずして、ラッチの向きを反対にしてください。  
(標準は右吊用になっています。)



- 丁番 レバーハンドルの箱に同梱してある丁番の説明書をご覧ください。

施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆ すべての部品が取付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
- ◆ 取付けネジが所定の位置に取付けられているか確認してください。
- ◆ ネジのゆるみや枠のガタツキがないか確認してください。
- ◆ ドア本体の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。

※取付けが完了しましたら、扉が他の現場工事によって破損しないように「養生マット」をご利用ください。

※ダンボールはリサイクル品です。地球環境保護のため、回収業者に引き取っていただくようご協力をお願いいたします。

＜お手入れ方法＞

- お手入れは、うすめた中性洗剤で汚れをおとし、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。
- シンナーなどの溶剤や強い洗剤を使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテなどが付着した場合は、速やかに拭き取ってください。